

'24.3.25

5721
「健幸」でまぢづくり



武蔵野銀行は、「健康」や「ウエルネス」など「健幸」の視点で新たなまぢづくりを手がけられる人材育成を目的に、筑波大学が主導して設立した産学の共同事業体（コンソーシアム）に参加し、社会人を対象にした大学院のカリキュラムの策定に関する。参加メンバー同士の連携・交流による新たなビジネス展開も視野に入れる。

ビジネス視点で人材育成

19日に発足した「スポーツ・ウエルネス都市創生コンソーシアム」に参加した。筑波大のほか、アシックスや三井不動産、大和ハウス工業などが参加した。



都内で開かれた設立発表会には15者・団体の幹部らが出席した。コンソーシアムでは、筑波大学院が2025年4月にスポーツウエルネス学の修士課程に新設するスポーツウエルスマネジメント分野のカリキュラム設計に関与する。その際、武蔵野銀行は地域金融機関として培ってきた産業振興や起業支援、地域活性化に関する手法・ノウハウを提供して協力する。

筑波大など15者と事業体

コンソーシアムの参画会社・団体

- アシックス(スポーツ用品)
- カーブスホールディングス(フィットネスクラブ)
- カナミックネットワーク(クラウド介護)
- 大和ハウス工業(建設)
- つくばウエルスリサーチ(健康関連事業)
- 筑波大学(大学)
- 筑波大学スマートウェルス政策開発研究センター(コンサル)
- 日建建設総合研究所(シンクタンク)
- 日本スポーツ政策推進機構(スポーツ振興)
- 三井不動産(不動産)
- 武蔵野銀行(銀行)
- ACA Football Private Limited (サッカークラブ運営)
- BaCell法律会計事務所(弁護士・会計事務所)
- EYストラテジー・アンド・コンサルティング(コンサル)
- R-Body(スポーツ・健康施設)

(注)カッコ内は業種・事業内容

域経済の活性化などのまぢづくりの障害が増えている。コンソーシアムは「健幸」の観点から新たなまぢづくり企業の人材を育てるのが狙い。他業種連携による「協働大学院方式」で運営が行われ、参加メンバーはカリキュラムへの意見の反映に加え、参加メンバーの社員・職員は高度なりスキルングやリカレント教育を受けられるといった利点が見込める。

都内で開かれた設立発表会には、長堀和正頭取の代理として地域スポーツ部の関谷宏之部長が出席した。関谷部長は「少子高齢化のなか、持続可能なまぢづくりに向けて産業振興や地域活性化にとり組んできたが、参画を機に、地域社会のウエルビーイング向上への取り組みを加速させる。さらに、まぢづくりに関わる社会人人材の教育への貢献を目指す」と参画した目的を説明した。

武蔵野銀行は22年の支店長向け勉強会に、つくばウエルネスリサーチの代表取締役でコンソーシアムの事務局長を務める久野譜也氏を講師に招いた。その後、昨年5月には地域スポーツ部の行員1人を派遣。今年2月に都内で行われた内閣府の研究開発事業「SIP」(戦略的イノベーションプログラム)のシンポジウムに、長堀頭取がパネラーで参加している。

会長に就任した、女性向けにフィットネス事業などを手がけるカーブスホールディングスの増本岳社長は「企業側には、教育機関である大学の活用に着目してきた面があった。コンソーシアムではカリキュラムの策定に関する企業にとって魅力的」と設立の意義を説明した。